

3・4月の暦、行事や習慣あれこれ

三.四月份日历.民间传统节日·习俗

国民の祝日:

国民の祝日: 春分の日 3月20日(水): 二十四節季の一つ。(二十四節季とは、1年を日数によって24等分し、その分割点の日に季節を表す名前をつけたもの。ちなみに、春分の日は「昼と夜の長さがほぼ同じ」と言われていますが、実際には昼の方が少し長い。)

春分の日を真ん中に挟んで前後7日間は「春のお彼岸」と呼ばれ、お彼岸の間に家族そろってお墓参りをする伝統があります。また、「ぼたもち」を仏壇に供えたり食べたりする習慣もあります。

昭和日本 昭和の日 4月29日(月): 昭和天皇が御在位中の1989年までは「天皇誕生日」でした。その後は「みどりの日」とされましたが、2007年から「昭和の日」となり、「みどりの日」は5月4日に移されました。

伝統的な行事や習慣あれこれ

ひな祭り 3月3日は、「女の子の幸せと成長を祈り祝う日」とされています。2月ころから「ひな人形」を飾り、ひしもち、餅、ひなあられ、白酒などを供えます。また、3月3日は「桃の節句」とも呼ばれ、桃の花を飾って災いを祓う習慣もあります。

啓蟄(けいちつ) 3月5日。二十四節季の一つ。寒い冬のあいだ土の中で冬眠していた虫たちが、春の気配に誘われて目を覚まし、地上に這い出してくる時季であるという意味です。

花見 花見の対象は、ほとんどの場合、「ソメイヨシノ」という種類の桜で、関東地方では、毎年たいてい3月末ころから4月初めころにかけて一斉に咲きます。そして、2週間足らずで、はらはらと散っていきます。桜は、花びらの「可憐な美しさ」と「散り際のはかなさ」が多くの人に愛され、「国花の一つ(もう一つは菊)」に選ばれています。「お花見スポット」は皆さんの近くにもたくさんあると思います。最近では、日本人に交ってお花見を楽しんでいる外国出身の皆さんの姿も多く見られるようになりました。国際的な「お花見」が盛んになるといいですね!

年度末・年度はじめ 日本では、役所や学校をはじめとして、4月から3月までを1年とする組織がほとんどです。そのため、年度末の3月には、たいていの学校では卒業式が行われます。そして、年度はじめの4月には、学校では入学式が、役所や多くの会社でも入社式が行われ、たくさんの人たちが人生の新しいスタートをすることになります。この時期は、桜の咲く華やかな季節とも重なり、「希望の春」と言われています。



国民节日・节假日:

春分 3月20日(星期三): 是二十四节气之一。(二十四节气是把一年的天数分成24等分, 每个分割点都起季节性名称。人们说春分这一天“白天与黑天的时间一样长”实际上白天稍微长一点儿。) 以“春分”这天为中心前后七天被称为“春之彼岸”(类似清明), 在这期间有全家人一起去扫墓的传统习惯。另外还有在祖先牌位前供奉和吃牡丹糕的习惯。(用春天开放的牡丹花冠名为牡丹糕, 用秋季开放的萩(胡枝子)冠名为萩糕。名称虽不同其实是同一种糕团, 即糯米团子外裹豆沙。)

昭和之日 4月29日(星期一): 昭和天皇在位的1989年为止, 每年的这一天是“天皇的生日”。此后这一天被改为“绿色之日”, 从2007年开始又改为“昭和之日”, 而“绿色之日”改到了5月4日。

传统的民间节日及习俗:

3月3日是(女儿节), 是“祝福女孩子健康成长的节日”。一般从2月份开始摆放“偶人”, 偶人前供奉菱形年糕、爆大米花和白甜酒。另外3月3日还有桃花节的叫法, 有插桃花来驱邪保平安的习惯。

3月5日是(惊蛰), 是二十四节气之一。意味着严冬期间在土壤中冬眠的昆虫感觉到了春天的迹象, 苏醒过来爬出地面的时节。



赏樱 多指“染井吉野”这个品种的樱花。关东地区每年的开花时节大约在3月末至四月初。不到两周时间樱花便会飘落凋谢。可爱的花瓣在凋谢时飘飘起舞的样子深受日本人的喜爱, 把它选为“国花”之一(另一种国花是菊花)。在你居住的附近会有很多“赏花好去处”。最近和日本人一起参加赏花活动的外国人很常见。但愿有国际特色的赏花活动越来越红火。



年度末・年度初 日本的学校、政府机关及各公司企业的年度周期大都是四月开始三月结束。因此年度末的3月份, 大多数的学校会举行毕业式。到了四月学校为新入学生开入学典礼, 而各机关及公司则为新职员举办迎接新人仪式, 对很多人来说意味着将在新的环境开始新的生活。这一时节与樱花盛开是同一时期, 又称为“希望之春”。

